2022年度活動概要　　海外の外国語教育研究会

2022年度の活動は、テーマを「諸外国の外国語教育の現状と課題―日本の外国語教育の再構築にむけて―」とし、研究会はオンラインで開催し、計4回の例会を開催した。さらに、JAAL in JACETでポスター発表、JACETセミナーではシンポジウム発表を行った。研究会の内容は、海外を中心に日本も含め様々な現場の状況を調査研究し、その報告を行なった。具体的な発表テーマは以下の通りである。

一昨年から進めてきた海外教育政策と現状に関する報告書の出版に関しては、コロナ禍で調査が中断していたため、来年度以降の継続テーマとして研究を続けていく予定である。

第１回例会：6月25日(土)15:00-18:30、Zoomオンライン
発表：「What is policy learning and how can it improve policy-making and educational practice?」Ken Spours（UCL Institute of Education名誉教授）

第２回例会：10月1日(土)14:00-18:00、Zoomオンライン
発表：「Web 3.0/メタバース/Society 5.0/DX時代の英語教育」小張敬之（青山学院大学名誉教授・客員教授）

第３回例会：12月27日(火)14:00-18:00、Zoomオンライン
発表①：「中国2022版新学習指導要領を読み解く、英語教育の過去・現在・未来を考えよう」王林鋒（大阪教育大学高度教職開発系・特任准教授）
発表②：「フィンランドの初等・中等教育機関におけるCLIL授業から学ぶ」二五義博（山口学芸大学教授）

第４回例会：3月18日(土)15:00-19:00、Zoomオンライン
発表：「我が国の英語教育政策の改革にかかわって」小池生夫(慶應義塾大学・明海大学名誉教授、一般社団法人大学英語教育学会名誉会長)

ポスター発表：12月3日（土）11:00-12:00、JAAL in JACET（立命館大学）
「オランダ・イタリア・イギリスの事例」高坂京子（立命館大学教授）、二五義博（山口学芸大学教授）、大場智美（多摩大学准教授）

シンポジウム発表：3月20日（月）11:10-12:10、JACETセミナー（文教大学）
「海外における小・中・高・大の連携―フィンランド・オランダ・ドイツ・オーストリアの事例より―」二五義博（山口学芸大学教育学部教授）、米崎里（関西学院大学教育学部教授）、髙坂京子（立命館大学経営学部教授）、山川智子（文教大学文学部教授）